

A photograph of three people (two men and one woman) wearing green polo shirts, smiling and raising their fists in a celebratory gesture. The woman in the center is holding a framed certificate. The background is an indoor setting with a staircase and a wall calendar.

チャレンジしよう! 新事業新分野展開

事業再構築補助金の活用で未来を変える

- ◎ピンチをチャンスに変えるための事業再構築事例
- ◎商工会が提案する、さまざまな補助金制度の紹介
- ◎県青連・県女性連の活動報告、保険相談事業の紹介

【取材協力】 (株)朝日プロモーション古賀、石橋餅加工所、美容薬理(株)、(株)サポートナビゲーション



左より、代表の古家幸作さん、妻・香奈子さん、幸作さんの母・好恵さん



つぼ窯でじっくり焼いたスイーツ焼き芋 新聞販売店主の「熱い」挑戦が話題

60年前に先々代が新聞販売店を創業し、その後33年前に法人化して現在に至る。朝日新聞・日刊スポーツの販売を軸に、雑誌類・書籍の販売や折込広告事業で収益を上げてきた。

だが20年ほど前からインターネットの普及に伴って新聞購読世帯は減り続け、コロナ禍で近隣のスーパーやドラッグストア等が特売広告による販促活動を控えたため折り込み広告も激減。会社存続の危機を予感した古家代表は、思いきった事業再構築に取り組むことにした。それが「さつまいもの6次産業化」である。

まずは農地を所有する従兄から無償で畑を借り、昨年よりさつまいもの生産を開始(第一次産業)。次に、収穫したさつまいもを使い焼き芋など芋スイーツの開発・製造に着手(第二次産業)。今年1月には事務所スペースを改装し、地域唯一の芋スイーツ店「つぼ焼き芋さく」を開店して本格的な販売に乗り出した(第三次産業)。

商工会との付き合いは長いが、新聞販売業という業種柄、補助金制度を使う機会は今回が初めて。申請に際しては後藤指導員が資料作成や申請プロセスを丁寧にアドバイスした。

「後藤さんのおかげで無事に採択されました。まずは認知度を上げてファンを増やし、売り上げを伸ばすことが目標です。その後の展開は、経過を見ながら具体化していきます」

つぼ窯で焼く焼き芋は、ねっとりとした糖度が高いスイーツだ。温かいだけでなく冷たい焼き芋の美味しさも訪れる客を驚かせている。気さくな妻・香奈子さんに、夫妻の2人の母・好恵さんと渋田泉さんが裏方として支える。調理師免許を持ちスイーツ開発の柱である長女・きずなさん、ロゴマークを考えた次女・希心(みこと)さん、そして応援団の長男二男。家族で臨む新たな挑戦がこれからどんな未来を描くのか、事業再構築の成果に期待したい。



- 1 滋賀から取り寄せた特注のつぼ窯で3時間かけて焼き上げる。
- 2 紅はるかなどねっとりとした糖度の高い芋を使用。
- 3 温・冷・凍と3種類の焼き芋が楽しめる。

株式会社朝日プロモーション古賀
／つぼ焼き芋さく
代表 古家幸作
古賀市天神 1-4-27
Tel : 092-405-3310



古賀市商工会／経営指導員 後藤 皓平

折込作業に新聞配達、畑仕事に焼き芋づくりと、古家代表は本当に寝る間を惜しんで頑張られています。でも新たな挑戦だからでしょう、目が輝いていらっしゃる。そんな姿を見ると、どんなサポートができるだろうと考えずにはられません。長年築いてこられた人脈と信頼の基盤に、この街唯一の芋スイーツ店がどんな相乗効果をもたらすのか楽しみです。今後は娘さんも加わり、さまざまな商品が生まれるでしょう。SNSを上手に活用しながら認知度を上げるお手伝いもさせていただこうと考えています。

令和5年3月から、新しい信用保証制度がスタートしました

創業から一定期間を経過していない会社等に対する事業資金供給の円滑化を図るとともに、**経営者保証を不要とする「スタートアップ創出促進保証制度」**が、令和5年3月15日にスタートしました。

最新の情報・詳細につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

福岡県信用保証協会

検索

<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>



中小企業のベストパートナー
福岡県信用保証協会

お客様相談フリーダイヤル
0120-112-249

お問い合わせ先
■ 本所営業部 : ☎ 092-415-2601 ■ 久留米支所 : ☎ 0942-38-1022
■ 大濠支所 : ☎ 092-734-5923 ■ 筑豊支所 : ☎ 0948-22-3585
■ 北九州支所 : ☎ 093-551-2634 ■ 大牟田支所 : ☎ 0944-52-6011





父が作り、息子が伝える 吉井町が生んだ、餅屋の和菓子が話題

白壁の風情と洗練されたカフェやショップが立ち並ぶ人気スポット「筑後吉井白壁のまちなみ」の一角に、和スイーツの人気店「暴食の果実」がある。プロデュースするのは、地元吉井町で創業55年を誇る、石橋餅加工所。3代目の石橋雅彦代表に話を聞いた。

「年々市場が縮小傾向にある中、コロナ禍が追い打ちとなって取引が激減し、これまでの卸主体の事業に限界を感じました。そこで、以前から漠然と考えていた直接お客さまとつながるBtoC事業への展開を決意し、この逆境をチャンスに変えることにしたのです」

2021年5月、古民家を拠点にイベント出店などから始めた新事業は、2022年に入って大きく動いた。国道沿いの現在地に元和菓子店の居抜き物件が見つかり、事業再構築補助金を活用して新店舗を構えたのだ。

「出利葉さんの迅速な対応で無事に資金調達が出来、本当に感謝しています」

店舗がオープンして1年、ファンは着実に増えている。石橋代表は商品の製造担当に徹し、店舗の企画運営は次男の英哲さんに一任。ユニークな店名も「言葉が与えるインパクトと、ダイエット中のごほうびとして暴食したくなるほど美味しいという意味で名付けました」と微笑む英哲さん。代表の妻で英哲さんの母・裕子さんも「あんフラワー」など人気商品の開発に携わり、家族で商品づくりに励んできた。

使用するフルーツは地元の生産農家と契約し、その他の材料も可能な限り地元産を使っている。現在は店舗での直接販売が主軸だが、今後は福岡市などの都市部へのイベント参加、急速冷凍技術を駆使した通販の拡大など構想は広がる。カナダ留学で日本食への信頼の高さを実感した英哲さんは、今後、インバウンドで訪れる外国人観光客へ、和菓子の良さを広めていきたいと考えている。父子で始めた新事業の展開から目が離せない。



1 3 思わず写真に収めたい美しさ。2 うきは産フルーツなど地元の素材をふんだんに使って。4 もち米100%の食べ応え。5 目移りがする創作和菓子。

石橋餅加工所／暴食の果実
代表 石橋雅彦
うきは市吉井町新治 212-5
Tel：0943-75-2694



ホームページ



Instagram



うきは市商工会／経営指導員 出利葉 和彦

石橋代表が作る「きねつき餅」は、ふるさと納税の返礼品にも使われる地元の逸品です。大福や団子・饅頭は「餅屋さんの和菓子」らしく、腹持ちの良いしっかりとした味。代表の職人としての技とこだわり、英哲さんのセンスと感性が加わり、『暴食の果実』は個性的な店舗として存在感を増しています。これを機にBtoCへと大きく業態転換に挑戦された心意気と、次なるビジョンの実現に向けて、私も最大限の努力でお応えしたい。吉井町の白壁にマッチした和モダンの店舗へ、ぜひお出かけください。

「急な運転資金が必要だ」、「店舗改装の借入がしたい」など
事業に関する融資全般のご相談をお受けします！

ふくぎん法人ビジネスサポートセンター

☎0120-279-005

午前9時から午後5時45分（土日、祝祭日、12月31日から1月3日を除く）
ご相談の内容によっては「ふくぎん法人ビジネスサポートセンター」での
お取扱いができない場合がございます。

あなたのいちばんに。
ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行

DÔCORE どおこれ

ふくおか 商工会 ショップ

福岡県の逸品の数々を、全国の皆様にお届けします。

**福岡県
よかもんショップ**

楽天市場ウェブサイトにて

出店中
QRコードから



自然化粧品の実力派メーカーが挑む 『芦屋ハーブバレー』構想が叶える未来

里山に抱かれ海を一望する岬に、自然化粧品の原材料栽培と製造、有機野菜料理が楽しめるレストラン、自社製品と無添加スイーツのショップ等から成る『芦屋ハーブバレー』がある。

敷地内には工場・事務所・レストラン・ショップのほか、有機JIS認定を受けたハーブ農園や研修センター、ハーブ成分の抽出や塩作りが体験できる蒸留所、ピザ窯や茶室などが点在し、鳥の声や風の音、木漏れ日や草花の香りを感じながらゆったりとした時間が過ごせる。

自身のアトピー体験をきっかけに有害物質のリスクに気づいた金井誠一社長は、独学で試行錯誤の末、独自の製造技術を確立した。「本物の自然化粧品を原材料から作りたいという夢に向かってひたすら歩んできました」と語る。

2014年、水巻町から現在地へ移転し、地元名産の赤紫蘇を原料に主力シリーズ品の開発に成功した。また、地元漁師が海水から作る塩を

使った商品も人気だ。

「工場用地のみでスタートし、商工会とのおつきあいが始まって私の夢に吉岡さんが耳を傾けてくれました。行政や生産者の皆さんと出会い、隣接地を少しずつ購入できて、今では当初の約10倍の敷地で夢を形にしています」

事業再構築補助金を活用して完成した研修センターは、自然を体感しながら学べる新入社員教育の場として、また自然素材の料理を楽しむ完全予約制のレストランとして月数回開放する予定だ。隣接するステージはテントを張ってキャンプを楽しんだり、イベントの舞台にしたり、さまざまな活用ができる。

今後も、施設や設備を増やして体験コースを充実し、美と健康のメッセージを通じて「地球や自然の大切さ」が学べる、サステナブルな拠点づくりを進めていく。『芦屋ハーブバレー』が形作る未来に期待したい。



1 新展開の起点となる研修センター。2 魅力的な体験施設の数々。3 『福岡県ワンヘルス』認証を受けた新商品。4 芦屋町名産の赤紫蘇。5 園内のハーブ園。

美容薬理株式会社
代表取締役社長 金井誠一
福岡県遠賀郡
芦屋町大字山鹿814-1
Tel : 093-221-5500



芦屋町商工会／経営指導員 吉岡 誠治

金井社長が語られるビジョンを伺うたびに「商工会としてどんな支援が可能だろう」と、常に自問自答しています。初めてお会いしたのは芦屋町に移転されて間もない頃で、特産品の「赤しそ」を使った新商品の開発構想を話してくださいました。以来、新たな目標に向け常に挑戦を続けられる社長のお役に立てるよう、各種補助金申請等に必要の事業計画策定などの支援を行っています。今後も『芦屋ハーブバレー』推進に向け、地元の行政機関や関係団体等との連携を通じて、効果的な支援ができるよう努力して参ります。

あらゆる事業承継について、お気軽にご相談ください。

後継者がいない

会社の合併や買収について聞きたい

事業を引き継いで起業したい

承継方法がわからない

事業承継に悩むすべての中小企業を
全力でサポートします!

お早めの相談が解決の早道です!

M&A マッチングのサポート

後継者人材バンクの活用

事業承継計画の策定支援

専門家による的確なアドバイス

福岡県事業承継・引継ぎ支援センター

相談無料：月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～17:00

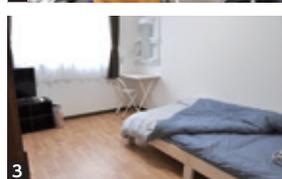
福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル8階

TEL : 092-441-6922

<https://fukuoka-hikitsugi.go.jp>



左より、長男・群(ぐん)さん、妻・あゆみさん、石田和弘総合施設長



旅行業で積み重ねた経験と感性を 障がい児福祉に生かす、新たな挑戦

20歳から旅行業一筋の石田和弘さんが32歳で独立して設立した会社の経営は、3年前までとても順調だった。しかし、コロナ禍による人々の行動自粛で売り上げが激減。事業を再構築しなければ存続さえ危うい状況に陥った。

脳裏に浮かんだのは、障がいのある方の旅サポート。障がいのある幼なじみの世話を自然にしていたし、高校時代は支援ボランティアにも関わっていた。かつて障がいのある方の旅サポートに十分対応できない悔しさも経験した。

ある時、障がい者の旅サポートを手がける会社で話を聞き、障がい者施設を訪れる中で、障がい児福祉の課題を知る。受け入れ施設の不足や家族のレスパイト(休息)など、行政では対応しきれない課題が山積していた。

現実を知った石田さんは、障がい者の旅サポート「たびサポ」とともに、障がい児の未来につながる「みらサポ」の事業化を決意。実家の敷

地約300坪に放課後等デイサービス・グループホーム・ショートステイの施設を建て、子どもたちの居場所をつくることにした。

必要な資金は約1億2000万円。石田さんのビジョンを聞いて「やりましょう!」と共感した犬束指導員とともに、第1次事業再構築補助金を申請。無事に最高額6000万円が採択され、令和2年夏に放課後等デイサービス、昨年春にショートステイ、夏にはグループホームを開設した。現在は彼らを社会につなげる就労継続支援B型事業所の開設準備を進めている。

「今年の正月は子どもたち8名を連れ太宰府天満宮へ初詣に行きました。喜んでもらえるよう知恵を絞るのは福祉も旅行業も同じです」

妻・あゆみさんや大学で福祉を学んだ長男の群さんなど頼もしいスタッフとともに、今後も石田さんは独自の視点で新たな福祉と旅行業のビジネスモデルを追求していく。

1 2 広々として快適な施設で子ども達は思い思いの時間を楽しむ。3 落ちついて過ごせる個室。4 安心安全で思い出に残る旅をサポート。

株式会社サポートナビゲーション
/あゆみの杜
総合施設長 石田和弘
田川郡福智町神崎 1533
Tel : 0947-23-0903



サポナビ



あゆみの杜



AYUMINOMORI1533



福智町商工会/経営指導員 犬束 裕樹

長年の経営経験から、石田さんは「どうしたらできるか」という前向きな視点をお持ちです。行政や既存の福祉サービス事業者だけでは支えきれないことに、情熱とスピード感をもって果敢に挑戦されています。「みらサポ」の起点となる「あゆみの杜」の充実だけでなく、長年の経験を生かした「たびサポ」、安心安全な資材を扱う「セフサポ」といった事業の柱を立て、再構築に取り組まれています。雇用を含め、地域貢献度の高い石田さんの事業がさらに充実するよう、商工会はしっかりと支援して参ります。

| 事業者の皆さまのご相談に 専門スタッフがお応えします! |

資金調達
どうしよう?

創業計画書
どう作ればいいの?

事業の悩みを解決
できます!

ビジネスサポートセンター

相談内容
創業資金
事業拡大の資金
販路拡大

福岡 TEL 0120-713-817

北九州 TEL 0120-055-817

営業時間
平日9:00~17:00
(土日祝、12月31日~1月3日除く)

インターネットからの
ご相談はコチラ

ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

商工会のサポート 補助金5選

皆さまのビジネスの
ステップアップに！

商工会では皆さまの経営強化に向けてさまざまなサポートを行っており、補助金の活用支援もその一つです。今回は、今年度新設または拡充された、目的に応じた各補助金制度について紹介します。

地域を支える 事業者の皆さまへ

販路開拓をサポート！

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者等*の皆さまが経営計画を自ら策定し、取り組む販路開拓を支援します。補助対象となる経費は、機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費、委託・外注費等です。

また免税事業者から適格請求書発行事業者に転換する事業者(インボイス転換事業者)を対象に、すべての枠で一律に50万円の補助上限を上乘せし、販路開拓を支援します。

*常時使用する従業員数が「商業・サービス業(宿泊業、娯楽業を除く)」の場合5人以下、それ以外の業種の場合20人以下である事業者

活用事例

- 古民家をカフェとして営業するため、**厨房を増設**。地元飲食店との**コラボメニュー開発**
- 蕎麦屋が地元特産の食材を使ったかき揚げをセットメニューに追加するため、**高性能フライヤーを導入**。新規顧客の増加、顧客単価アップを目的として**地元メディアに広告を出稿**。

※赤字が補助金の対象経費

類型	通常枠	特別枠				インボイス特例
		賃金引き上げ枠	卒業枠	後継者支援枠	創業枠	
補助率		2/3 (賃金引き上げ枠のうち赤字事業者は3/4)				50万円
補助上限	50万円	200万円				※インボイス特例の要件を満たす場合は、左記補助上限額に50万円を上乘せ

詳しい情報は
コチラ



IT導入・DXを 検討中の皆さまへ

業務効率化・データ活用をサポート！

IT導入補助金

中小企業・小規模事業者等の皆さまが自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売り上げアップを支援します。

業務効率化・売り上げアップといった経営力の向上・強化を図ることを目的としています。

自社の置かれた環境から強み・弱みを認識、分析し、把握した経営課題や需要に合ったITツールを導入することで、

『デジタル化基盤導入枠』では、インボイス制度への対応も見据え、会計・受発注・決済・ECソフトに加え、PC・タブレット・レジ・券売機等のハードウェア導入費用も支援します。

活用事例

- 建設・土木業/本社でのタイムカードによる勤怠管理のため、現場への直行、現場からの直帰ができず、**「勤怠・労務管理ツール」を導入**。出先からの打刻が可能となり、**残業時間が3割削減、人事担当の作業効率も大幅アップ**
- 食品卸売業/インバウンド向け飲食店をメインターゲットとしていたが、コロナ禍で売り上げが激減したため、**「ECサイト」を構築**。一般消費者向けに機能性食品の販売を開始し、ゼロからのスタートで**月商400万円を達成**

詳しい情報は
コチラ



類型	通常枠		デジタル化基盤導入枠 (インボイス対応に活用可能)			セキュリティ対策 推進枠
	A類型	B類型	デジタル化基盤導入類型			
補助額	5万円～ 150万円未満	150万円～ 450万円以下	会計・受発注・決済・ ECソフト	PC・タブ レット等	レジ・ 券売機等	5万円～100万円
			50万円以下	50万円超～ 350万円	～10万円	
補助率	1/2以内		3/4以内	2/3以内	1/2以内	1/2以内
補助対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料(最大2年分)、導入関連費		ソフトウェア購入費、クラウド利用料(最大2年分)、導入関連費、ハードウェア購入費			サイバーセキュリティサービス利用料(最大2年分)

※他に、複数社連携IT導入類型もあり。

生産性向上を目指す皆さまへ

新商品・サービスの開発をサポート！

ものづくり・商業・サービス補助金

革新的な製品・サービス開発または生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援します。今年度から、大幅賃上げに係る補助上限額引き上げの特例

として補助事業終了後、3～5年で大幅な賃上げに取り組み事業者に対し、補助上限が100万円～1,000万円、更に乗せとなります(回復型賃上げ・雇用拡大枠などは除く)。

活用事例

- ① 通常枠／複数形状の餃子を製造可能な餃子全自動製造機を開発
- ② デジタル枠／AIを導入した高精度な自律移動式無人搬送ロボットの試作開発
- ③ グリーン枠／「エコマテリアル」素材を導入し、環境負荷が少ないグリーンな製品の試作開発
- ④ グローバル市場開拓枠／来日する外国人をターゲットとした予約システムの開発

一般型					
類型	通常枠	回復型賃上げ・雇用拡大枠	デジタル枠	グリーン枠	グローバル市場開拓枠
補助上限	750万円～1,250万円			750万円～4,000万円	3,000万円
補助率	1/2、2/3(小規模・再生事業者)	2/3		1/2、2/3(小規模事業者)	

詳しい情報はコチラ



事業の再構築に挑戦する皆さまへ

新分野展開や事業再編をサポート！

事業再構築補助金

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取り組みを通じた規模の拡大等、思い切った事業

再構築に意欲を有し必須申請要件をすべて満たす中小企業等の皆さまの挑戦を支援します。

活用事例

- ① 飲食業／喫茶店経営→飲食スペースを縮小し、新たにコーヒー豆や焼き菓子のテイクアウト販売を実施
- ② 小売業／衣服販売業→衣料品のネット販売やサブスクリプション形式のサービス事業に業態を変換
- ③ 製造業／ガソリン車向け部品製造→グリーン課題の解決に向けた取り組みとしてEV向け部品製造の事業を新規に立ち上げ

類型	成長枠	グリーン成長枠	産業構造転換枠	サプライチェーン強靱化枠	物価高騰対策・回復再生応援枠	最低賃金枠
補助額	100万円～7,000万円	100万円～1億円	100万円～7,000万円	1,000万円～5億円	100万円～3,000万円	100万円～1,500万円
補助率(中小企業)	1/2	1/2	2/3	1/2	2/3	3/4

詳しい情報はコチラ



事業の再構築に挑戦する皆さまへ

事業承継・M&A後の経営革新をサポート！

事業承継・引継ぎ補助金

事業承継・M&A後の経営革新やM&A時の専門家活用等を年間を通じて機動的かつ柔軟に補助します。

活用事例

- ① 経営革新事業／事業承継やM&A(事業再編・事業統合等。経営資源を引き継いで行う創業を含む)を契機とした経営革新等(事業再構築、設備投資、販路開拓等)への挑戦に要する費用
- ② 専門家活用事業／M&Aによる経営資源の引継ぎを支援するため、M&Aに係る専門家等の活用費用
- ③ 廃業・再チャレンジ事業／再チャレンジを目的として、既存事業を廃業するための費用

類型	経営革新事業	専門家活用事業	廃業・再チャレンジ事業(原状回復費・在庫処分費等)
	創業支援型・経営者交代型M&A型	買い手支援型・売り手支援型	
補助上限	600万円以内 または800万円以内(※1)	600万円以内	150万円以内
補助率	2/3または1/2(※1)	2/3または1/2	2/3または1/2

詳しい情報はコチラ



※1)一定の賃上げを実施する場合は補助上限を800万円に引き上げ(補助額のうち600万円超～800万円の部分の補助率は1/2)
※2)今回の公募より、同一法人内で承継予定の後継者候補による取組も新たに補助対象

県青連 Report

福岡県商工会青年部連合会

令和4年度福岡県商工会青年部連合会リーダー研修・ビジネス交流会

2月20日(月)、福岡県中小企業振興センター2階大ホールにて「福岡県商工会青年部連合会リーダー研修・ビジネス交流会」が開催されました。

まず、一般社団法人ベンチャー型事業承継の山岸勇太氏を講師に迎え、「アトツギベンチャーが日本を救う」というテーマで講演が行われ、後継者＝“アトツギ”について全国各地の様々な業種の事例が紹介されました。

続いて、河野・野田部法律事務所の野田部弁護士を講師に迎え、「雇用契約関係セミナー」というテーマで残業代やハラスメントといった、労使間にて知っておくべき事例についての研修がありました。

最後に、ビジネス交流会が行われ、各青年部のリーダーが総会資料を持ち寄り、事業運営や研修会内容の比較など、青年部事業をより良くするための意見を交換し合いました。

終了後に参加部員から寄せられたアンケートでは、「非常に良い研修だった」という意見が多く、各商工会青年部のリーダー部員にとって大変有意義な時間となりました。



山岸勇太氏が様々な業種の事例を紹介



野田部弁護士を講師に迎えた研修会



活発な意見が飛び交ったビジネス交流会

県女性連 Report

福岡県商工会女性部連合会

令和4年度商工女性主張のつどい

2月6日(月)、ヒルトン福岡シーホークにて「令和4年度福岡県商工女性主張のつどい」が開催されました。

つどいでは、各地区から選出された4名の女性部員が、日ごろの女性部活動や地域振興の取り組みについてイキイキと発表しました。



発表者(左から)広川町商工会女性部の山田純子さん、上毛町商工会女性部の小川悦子さん、香春町商工会女性部の竹原裕美さん



最優秀賞を受賞した福岡市商工会女性部の増田美佐子さん

発表者は以下のとおり(発表順)

- 福岡地区代表 福岡市商工会女性部 増田美佐子さん
 - 筑豊地区代表 香春町商工会女性部 竹原裕美さん
 - 北九州地区代表 上毛町商工会女性部 小川悦子さん
 - 筑後地区代表 広川町商工会女性部 山田純子さん
- 最優秀賞には増田美佐子さんが選ばれました。

主張発表の審査の間、大野城まどかぴあの館長の林田スマ氏による、「女性活躍推進という風の中で、今」というテーマの講演がありました。参加者からは「時間を忘れるほど話に引き込まれた」という感想が多く、この日のつどいで得た知識と経験を、今後の女性部活動に活かすことをお互いに誓い合いました。



参加者から好評だった林田スマ氏の講演

商工会の**保険相談会**が大好評!

保険や共済はライフステージの変化によって、「必要な保障」が変わります。

節目節目に**保険・共済の見直し**をすることが大切です。

契約時は十分な内容でも、ライフステージが変わると役に立たなくなることも想定できます。

保険・共済の見直しには**多くのポイント**がありどれも大切です。

一つ一つのポイントを漏れなくチェックするのは大変! そんな時は「プロ」に相談してはいかがでしょうか。

セカンドオピニオン(「第二の意見」)をご存じですか?

専門的知識を有する第三者に意見を求める「セカンドオピニオン」。商工会の保険相談では中立性・公平性を保ちつつ、第三者的な立場からしっかりと保険についてアドバイスします。

令和4年開催実績
(2022年1月~2022年12月)
のべ**367回**
多くの会員様に
喜んでいただきました



お申し込みは
ご加入の商工会まで

- 保険相談会は、商工会内または会員事業所内で行います。(リモートでも対応可能です。)
- 所用時間は約60分~80分です(時間調整はご相談ください。)